

# 彩星だより 第54号

若年認知症家族会・彩星の会会報

〒160-0022 新宿区新宿 1-25-3-302 TEL03-5919-4185/fax03-5368-1956 E-mail:hoshinokai@star2003.jp



平成 24 年 3 月 17 日



## 若年認知症から若年性認知症に

南魚沼市立ゆきぐに大和病院 宮永 和夫

最近若年認知症の代わりに若年性認知症と「性」が入った表記が目立つようになりました。以前の文章は若年認知症でしたが、最近は若年性認知症なのです。理由は簡単です。荻原弘氏の「明日の記憶」に若年性アルツハイマーという言葉がありました。これが若年でなく若年性に替わった契機であろうと思っています。ただ、この言葉は作者には申し訳ないのですが、使い方は間違っています。アルツハイマー病は100年ほど前に病理学者のアルツハイマーが初めて報告したのですが、その患者さんはアウグステという51歳で発症した女性でした。私の学生時代、もう40年以上前になりますが、「アルツハイマー病は初老期（45～64歳）発症の認知症である」と教えられました。その後、昭和の終わり頃になり、日本国内ではアルツハイマー病に類似した認知症が老年期（65歳以上）に大量に発症したのです。その頃の数年間ではありますが、アルツハイマー病とこのアルツハイマー病に似た老年期発症の認知症（アルツハイマー型老年認知症）と同じ病気なのか別の病気なのかという議論があって、結果として同じ病理所見と言うことで同じ病気になり、両者をまとめてアルツハイマー型認知症と名付けられました。それゆえ、私はアルツハイマー病は初老期発症、アルツハイマー型老年認知症は老年期発症と理解しました。すると、若年性アルツハイマー（病）は屋上屋なのです。アルツハイマー病が若年のだから、もう一つ若年性を重ねると、「若年の若年認知症」になる訳です。

また、平成8年に当時の厚生省の研究班で定義したことですが、若年認知症（18～64歳）=若年

期認知症（18～39歳）+初老期認知症（40～64歳）でした。当時の初老期の時期は45～64歳なので、若年期を18～40歳でなく44歳とするこも考えたのですが、介護保険の対象者が40歳以上になることが分かったため、初老期の定義を変更したのです。最近、認知症の人と家族の会（以前のぼけ老人を抱える家族の会）では、若年期認知症という名称で、「性」でなく「期」を使って若年認知症を報告しているようですが、この行動は、経過を知らずに使っているのか、はたまた、別な言葉で何か訴えようとしているのか理解しがたいものがあります。

今後を考えますと、若年認知症は若年性認知症に置き換わっていくのかもしれません。すでに若年性認知症家族会が発足したのもその流れの一つであろうと思います。私は、若年認知症と名付けた研究班の1人ですが、それが新しい言葉に変化することを止めようとは思っておりません。ただ、その意味する根本的な事柄が継承されてゆけばよいと思っているだけです。少しほりくどいことをお話ししましたが、私の言いたいこととは、曖昧な言葉を使わないこと、使う場合はその言葉の意味を十分理解して使って頂きたいということにあります。人と人が言葉を話し、意味を伝えあうことがコミュニケーションであるなら、新しい言葉は今までの言葉を継承するだけでなく、より新しい概念や意味を付け加えることと考えています。単に言葉を換えて同じ意味を表すのでは、皆を混乱させることだけになってしまいます。些細なことかもしれませんのが、気にとめていただければ幸いです。

# 盛り上がった平成23年度総会 —これからの家族会—

平成24年1月22日（日）13：00より首都大学東京荒川キャンパスにて平成23年度彩星の会総会が開催されました。

小澤礼子副代表の司会で開会し、委任状含む参加者数の確認で総会が成立したことの報告の後、干場功代表から挨拶がありました。その後、私、今岡善次郎が議長の役を担い、用意した5つの議案にもとづき議事を進行しました。会場では、質問だけでなく、たくさんの意見も出され、大いに盛り上がった総会となりました。



討議については、まず高橋恵美子副代表から第1号議案平成23年度事業報告が行われました。3月11日の東日本大震災の影響で3月の定例会が中止になったこと、5月の「ほしまつり」でのフラダンス、7月の宮永先生の「新薬についての講演」、9月のパネルディスカッションと歌と踊りの懇親会で盛り上がった「10周年の集い」、10月の千葉県「生命の森リゾート・日本エアロビクスセンター」への旅行、11月の徳田雄人氏の「アメリカの医療・ケア報告」など充実した交流会等の振り返り報告がなされました。また23年度より本人の就労支援の場として、新宿区立障害者福祉センター「喫茶ふれんど」の運営に参画したとの報告がありました。会場から、相談業務の内容について、旅行の安全性についてのご意見をいただきました。

引き続き、伊藤美智子会計より第2号議案平成23年度の決算報告、三谷彰世話人より監査報告が行われました。会費の納入状況や寄付金の切迫、世話人会開催の旅費負担、彩星だよりの印刷送料など、会の活動と会計状況を分かりやすく報告していただき、会場からは経費軽減のアイデアが多く寄せられました。

続いて、鈴木富美子世話人から第3号議案平成24年度事業計画（案）が提案されました。例年通りのミニ講演、家族・メンバー交流会を奇数月に行うこと、旅行と日程が重ならないようにして「介護なんでも文化

祭」に参加する主旨の提案がなされました。また、旅行については今年度の苦い経験を踏まえ、安全で楽しい企画とすることの確認がされました。具体的には温泉付きで宴会可能、また旅費も節約できるところを会員の皆様から提案していただこうということになりました。良い旅行先があればぜひ、彩星の会の事務所までご連絡下さい。

続いて再び伊藤美智子会計より第4号議案平成24年度予算（案）の提案がありました。会費の未納率を下げる会費収入を増やす努力をすること、長期会費未納者で退会確認のできない会員に対する会報誌送付を中止する、等の提案に対して、郵便優遇制度適用の可能性検討、会報誌のメール送信による通信費節約、会費値上げ、定例会に募金箱を置く、等のご意見をいただきました。

最後に第5号議案平成24年度役員選出についての審議がされました。会員からの立候補者を募りましたがいなかったため、干場代表から役員候補（案）の提案がありその内容で了承されました。

なお、総会での本年度の事業報告、計画に入れていましたが、会の運営資金確保のために、実現は簡単ではありませんが、いろいろな団体に対して助成金申請も行ってきましたし、本年度も引き続き申請の機会を追求します。助成金を申請するに当たっては、この家族会の存在理由（理念・目的）をはっきり示すとともに、公正な運営のための会則や決算書や会報誌を添付することが求められます。



会則も、認知症には医療の現場だけではなく家族同志の交流が重要だと認識で、宮永和夫先生を中心にして10年前会が発足した時に作っていたものをそのまま使用しています。会員が多くなり会計上の課題等も出ており、会則もあらためて検討することになり、森義弘世話人を委員長として会則検討委員会を立ち上げました。来年の総会で審議いただけるように検討してまいります。会員の皆さまからのご意見をお待ちしておりますので、よろしくお願いします。

（文責 今岡善次郎）

# 定例会☆茶話会

1月22日 於：首都大学東京荒川キャンパス

平成23年度総会が、活発な質疑応答で白熱総会となり、茶話会が予定時間を遅れて開催されました。

小澤副代表の掛け声で、世話人、参加者は、楽しい表情で教室を瞬く間に、テーブルを組み合わせて、8つの大テーブルが出来、ただちに、飲み物、スナック菓子類、紙コップなどの配置で談話コーナー完成。

再会の喜びあり、年始挨拶あり、世話人交えての懇談あり、8つの絵模様があった事と思います。

また顧問に就任していただいた、勝野先生、比留間先生を囲んでのテーブルは、ひときわ笑いの多い相談コーナーになったのではないでしょうか。遅れて参加の会員を迎える姿の心温まる風景あり、茶話会人気の一端を見た感じです。隣室では、サポーターさんによる、「何か」を練習している様子が伝わってきております。各テーブルとも、人の移動も少なくなり、お互いの意見交換も真剣な表情が伺えます。隣室から「何か」の準備オーケーの様子をキャッチ

して、2時45分。昨年末に続き、寄付金お願いをいたしましたところ、募金箱となった帽子には、温かい善意のお金が8,655円集まりました。

この後、小澤副代表よりご紹介の辻丸さんが樂



器持参での詩吟を披露していただき大きな拍手がありましたことをご報告させていただきます。時間も残り少なくなったころ、サポーターさん指導の「何か」が始まりそうです。本人さんたちの合唱です。

サポーターの田中さんと青津優子さん中心に入り口付近には石川サポーター、左端にはハーモニカを奏でる三谷世話人と大舞台が出来ました。「ふるさと」「北国の春」を、練習成果十分な合唱に今日の参加者一同声が響く教室となりました。もう少し時間があれば、歌詞カードの残りの二曲、「上を向いて歩こう」と「見上げてごらん夜の星を」が手話交えての合唱があつたことだと思いますと少し残念。茶話会終了は3時55分でした。

末筆になりますが、会場でご寄付していただきましたみなさまに重ねてお礼申し上げます。

(文責 森義弘)



# 第4回全国若年認知症連絡協議会 (於高崎)

平成24年1月28日(土)29日(日)の両日 高崎にて上記、協議会が開催され、彩星の会代表であり、本協議会の事務局長である干場功代表とともに、私にとっては初めて参加でしたので、感想を含めて彩星の会の皆さまへご報告をさせて頂きます。

我が彩星の会も参加している本連絡協議会は北は北海道から南は九州まで各地の若年認知症の家族会の代表や世話人、施設の専門職、医療や介護、理学療法の専門家の集まりです。その目的は「若年認知症の人と家族の安心と権利を確保するために、情報交換を行い、若年認知症に特化した支援とケアを拡充するための社会活動を協同して行うこと」と記載されています。

ざつと二日間のプログラムとキーマンを報告します。会長の宮永先生の挨拶と若年認知症サポートセンターの田中悠美子さんのオリエンテーションで始まり、第4回目の今年は目黒認知症家族会だけのご代表の竹内弘道様の司会で進行しました。

第一部が1月28日14:00～17:00東横イン高崎駅前1階会議室にて、第一日目夜の参加者の交流懇親会を挟んで、第二部は翌日29日午前9:00～11:00前橋市の群馬会館にて開催されました。

第一部は、全国21団体からの活動報告と干場代表からの障害年金・高度障害の早期認定についての政策提言が行われました。第二部は東北被災地の若年認知症支援、認知症新薬実態調査の結果報告、全国協議会の略称、役員改選、規約改定、5月の総会、次回の全国フォーラム開催地 奈良などの確認が行われました。全国組織としての支援活動資金の助成金を申請するためには、組織のビジョンや公平な運営のために会則などの整備が必要ではないかとの意見も出されました。

二日目の29日午後13:00から16:30「全国若年認知症フォーラムIN群馬」(於群馬会館ホール)が開催され、基調講演としてレビー小体型認知症の発見で有名な、メディカルケアコートクリニック院長の小阪憲司先生による基調講演「認知症の理解とケア」、首都大学東京の勝野とわ子教授の調査

報告「若年認知症家族の健康」、群馬県健康福祉部介護高齢課の塚越日出夫課長の「群馬県の若年認知症対策」報告、そして最後にシンポジウム「若年認知症の人の生活と支援の現状」と題して国際医療福祉大学大学院准教授の小野寺敦志先生のコーディネートの下で、社会保険労務士の立場から前田良子様、家族の立場から大沢幸一様、介護事業者の立場から多機能ハウス ひなたぼっこ櫻庭直美様からの報告があり多面的に問題提起と対策が話し合われました。

印象に残ったことを若干報告します。修羅場を経た体験者が家族会を通して困難な家族を支援する熱意は迫力がありました。精神科病院へ入れる場合の人権擁護と、壊れゆく介護者を守ることの両立しない場合の悩みや、心ないケアマネージャーなどの専門家の対応など。

誰もが納得できない

ケースも多々あり、重要なことは我々が事例を集めて共有することだと結論になりました。居酒屋での懇親会は、同じテーブルに北から南まで方言を交え、皆同じ悩みや困難に接しているので初対面でもすぐ分かりあえる、楽しい交流会でした。北海道空知ひまわりの中村道人さんと杉山泰裕さん、福岡の天神オアシスの中島七海さん、奈良の若年サポートセンターの菅昌生さん、そして私と同じ初参加の青森の若年性認知症サポートセンターの「チーム青森」と言われていた福士さん、鈴木さん、松倉さんの3人組でした。二次会は、下仁田ネギ焼きと群馬の焼酎がうまかった。(文責 今岡善次郎)





## 「妻のこと」その②

東京都在住 A.H さん  
(平成23年5月入会)

### ★現在妻に対して自分なりにしていることは 【外に出る】

彩星の会や地域組織であるマリネの会などには積極的に妻と出かけている。たまに福岡に帰るが私が通訳として同席し妻の親しい友人と会わせる。私にも楽しい時間になるし妻も安心している。会ってくれる友人には本当に感謝している。

### 【絵手紙】

福岡で2年間ほど絵手紙教室に通っていたので時々花や果物などを題材に絵手紙を一緒に描く。宛先と文章は私が鉛筆で下書きする(私にとって結構大変な作業なのだが)。しかし出すと必ずと言ってよいほど返事が来る。妻はそれを何度も読み返している。

### 【犬】

3年前に犬嫌いだった妻の反対を押し切って子犬を飼い始めた。最初は犬に寄り付かなかつた妻が今では自分から一緒になって遊ぶようになりセラピーになっている。

### 【千羽鶴】

妻は手先が器用でここ2、3年は極く小さな千羽鶴を折り始めていた。これを小さなケースに入れ人にプレゼントするようにしたところ受け取った人からはとても喜ばれ妻も喜んでいた。ただ最近は以前のように長時間折ることはできなくなっている。

### 【カラオケ】

娘が室内用カラオケを買ってくれそれに妻の好きな歌を入れてくれたので良く娘の家で歌っている。歌うことが好きなのと大きな声を出すことでストレス発散していると思う。

### 【褒めておだてて】

妻は学校が食物科だったので一応栄養士の資格を

持っている。それで料理する時には「先生お願いします」と言う。すると必ず台所に来てくれる。「今日は私が調理しますので見ていてください」などと言って傍で見ていてもらう。

### 【写真アルバム】

最近は何かにつけて写真を撮り、それを現像してアルバムに貼るようにしている。それを時々見せてその時の記憶を蘇らせている。

### 【オヤジギャグ】

最近は一緒に居る時にとりとめもない冗談を考えそれを妻の前で口に出す。妻はそれを聞いて面白がったり呆れたりしている。

### 【こだま】

介護する私が明るければ妻も明るくなり私が愚痴や文句を言うとそのあの妻はよく「帰ります」とか「自分が分からなくなってきた」などと不安げに言い出す。そのため私の心の健康を維持することも大切なことなのでそのための手段として彩星の会などを利用させて貰っている。

妻は現在小康状態を保っているがこれから少しずつ進行していくだろうと思う。しかしこれだけいつまでも楽しくいられるよう明るい気持ちで見守って行きたいと考える今日このごろです。



# 喫茶ふれんど通信 ⑥

営業時間/10:00~15:00

彩星の会担当日/水曜日9:30~15:00



♥《スタッフ皆さんお一人おひとりの存在で無事「ふれんど」の運営のスタートを切ることができました。

今後は継続していくための課題ひとつひとつを、世話人皆さん含めてスタッフとともに丁寧にすすめていきたいと考えています。そして彩星の会の会員皆さんとの「喜び」に繋がるように励んでいきたいと思います。応援宜しくお願ひします。世話人：じんぼ ふさえ》

♥仕事を大切にしたい (O.W)

いつまでも「ふれんど」へかよえるといいなあ…(M.W)

《時々また一緒にスタッフ皆と大いに話をしを

して飲んで笑って明日へ繋げて、ともに

歩めたらと願っています。

スタッフ皆がいるからね…!》

♥末永くよろしくお願ひ

致します (M.K)

《唯一、私と8:30AMから仕込みを担っていただきとても助かっています。

ありがとうございます。

こちらこそヨロシク》



♥仕事場でニコニコしながら温かく  
差し伸べて頂ける手を感じながら、

やって来られております。出歩き、出たがり屋シンドロームの公子。

家でもお勝手を幾らか切り盛り出来る主婦？ (伊藤公子・金政)

《スタッフ皆が公子さんの笑顔でサポートを続けています。「継続は力なり」応援しています。一緒にともに》

♥「ふれんど」で四季のめぐみを感じよう。(世話人：鈴木富美子)

《大切な有休を使用して、昨年9月から活動くださっています。

私だったら仕事していたらやられません。感激の涙です！》

♥楽しくお手伝いさせて頂いてます。私自身がいやされる場所になっています。(FY)

《私が孤独に陥ることをいち早く気づき優しい言葉で支えてくださいました。

そして今はサポーターとして活動くださりお礼の言葉が見つかりません。

本当にありがとうございます。これからもお心にお答えできるようがんばります》

♥「ふれんど」の愛情いっぱいランチ♪ご来店お待ちしております。(アリス)

《忙しい日々を続けてこられて昨年

時間にゆとりができ休息なさりたい

ところですのに、すぐ「ふれんど」

に捧げてくださいましたこと、ひと

りで不安一杯の時でしたのでとても

感謝しています。色々と宜しくお願

いします》



イラスト：湯川

「喫茶ふれんど」ではご家族の方も募集しています。

♪毎水曜日9:30~15:00 (休憩13:00~13:30)

♪メンバーさんと一緒に活動していただける方ならどなたでも。

♪接客、メニュー盛り付け、洗い物、お掃除、その他。

\*「喫茶ふれんど」就労希望のご家族の方は、

彩星の会事務局までご連絡ください。

TEL 03-5919-4185 (月水金: 10時~17時)



# 認知症 よいあい所

交流スペース

## こんなお悩みお持ちではありませんか？

- 認知症?老い?病院へ行く前に相談したい…
- 診断後、まずはどうしたらいいのかわからない
- 認知症であっても通える場所が無くて困っている
- 認知症講座でオレンジリングを貰った後は、  
どう役立てたらいいのだろう?

認知症に関する相談、ボランティアの紹介、認知症の方でも気軽に立ち寄れる  
場所として「よりあい所」を作りました！ 一人で悩まずご相談ください。  
ご本人・ご家族・サポーター・専門職、みんなで集まり交流しませんか？  
ここには、同じ想いを共有する仲間がいます。

**ご本人・ご家族、お気軽にお出かけください。**

### ◎活動日程

活動日……月～金

活動時間……10:30～16:00

★第2・4木曜日は、男性介護者のつどい

★第2・4土曜日は、若年性認知症のつどい

※臨時で休む場合もあります。お越しの際は事前にお問い合わせ下さい。

### ■連絡先■

認知症フレンドシップクラブ柏事務局

TEL : 04-7196-6941

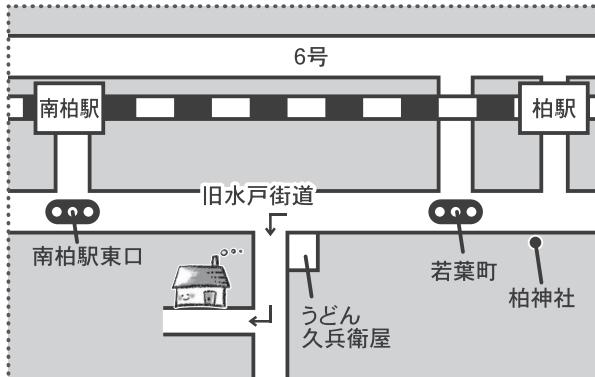
FAX : 04-7196-6942

柏市豊四季710-9

### ■アクセス■

柏駅徒歩20分／南柏駅徒歩15分

旧水戸街道沿いのうどん屋久兵衛屋さんを曲がり、一つ目の  
通りに入ります。20mほど歩いて右手にある民家です☆



# お知らせ

## 家族交流会

日時：3月25日(日) 13:00～16:00

会場：上智大学四谷キャンパス10号館地下 B108A・B109・B115(別添地図参照)

講演会：「家族介護者の心理について」

講師：小野寺敦先生(国際医療福祉大学大学院准教授)

### [プロフィール]

国際医療福祉大学大学院(臨床心理学専攻)准教授。臨床心理士。

大学病院時代に、心理職として認知症(当時：痴呆)デイケアに従事し、  
本人支援・家族支援を行う。前職の認知症介護研究・研修東京センターでは、  
研究企画主幹として、介護職のメンタルヘルスや人材育成に関する研究、  
地域資源マップを用いた地域支援事業等に携わる。

主な著書に『基礎から学ぶ介護シリーズ事例で学ぶ新しい認知症介護』(編著・中央法規)。

## 本人交流会

テーマ「春の花咲くアートセッション」

もうすぐ春ですね♪なんていふキンディーズの歌もありますが…

「春」と聞いて皆さんはどういうイメージを持ちますか？

今回は、そのイメージを皆で共同して大きな紙に表現してみようという企画を考えています。

アートを通してお互いを知り交流を深めてみませんか？皆様のご参加お待ちしています。

参加を希望される方は、事前に予約をお願いいたします。

事務局への電話・FAXで予約を受け付けます。

なお、参加費500円(茶菓代として)を頂きます。

## 【春のお花見イベントのお誘い】新宿御苑散策・撮影会

カメラが趣味の人もそうでない人も、一緒にお花見をしませんか？

日時：2012年4月10日(火) 10:30～15:00

集合場所：訪問療養マッサージ東京在宅サービス3階

(地下鉄丸の内線新宿御苑駅より3分)

持ち物：昼食、飲み物、敷物 ※障害者手帳をお持ちの方はご持参下さい。

申し込み・お問い合わせ：3月31日までに、名前と連絡先をお伝えください。

サポーター 田中悠美子 090-2243-4673 yuming201133joy@gmail.com



## 定例会でのサポーターを募集しています

より多くのご本人・ご家族に参加していただくために、さらに多くのサポーターを必要としております。  
ご協力いただける方、彩星の会事務局までご連絡ください。

### ■ご相談・ご入会は・・・

彩星の会事務局

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿1-25-3 エクセルコート新宿東302

電話：03-5919-4185 (電話相談日時：月水金 10時～17時)

FAX：03-5368-1956 携帯：080-5445-5298 (代表：干場)

Email：hoshinokai@star2003.jp

